

[前画面へ戻る](#)

科目名	歴史学特殊講義B
科目名(英訳)	Special lecture on History B
科目ナンバー	HH300A02
詳細情報	授業外学修時間:週4時間
担当者 (非)は非常勤講師	篠宮 雄二
単位数	2
開講学年	3年
開講セメスター	春期毎週
対象学科 選択・必修	必修: 選択:HH
他学科受講	
履修順序・履修情報	
担当者及び時間割	【春学期】 篠宮 雄二:木1-2
カリキュラムの中での位置付け /DP(ディプロマ・ポリシー)	歴史学分野テーマ科目。基礎をふまえた上で特定のテーマについて考察する応用的科目である。 【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ②:○ ③-(1):○ ③-(2):○
身につく基礎力 / 身につく汎用力	傾聴・受信力 クリティカル思考力 / 専門的知識・技能 思考力 学び続ける能力

授業の主旨 (概要)	江戸時代の城下町名古屋の各町に備えられたとされる「町中諸事御仕置帳」を判読・解釈しながら、江戸時代前半の城下町名古屋の空間構造や人々の暮らしについて考察する。																												
具体的 達成目標	(1)江戸時代の原史料を判読・解釈することができる。 (2)江戸時代前半における名古屋の人々の暮らしや支配のあり方を具体的に理解することができる。 (3)近世都市史研究における城下町名古屋を対象とする研究の現状と課題が理解できる。																												
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">1</td> <td>【内容】</td> <td>(第1週)導入および史料の判読と解釈についての解説</td> </tr> <tr> <td>【授業外学習】</td> <td>事後:変体仮名に関する課題に取り組む</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2</td> <td>【内容】</td> <td>(第2週)「町中諸事御仕置帳」28~30頁を読む</td> </tr> <tr> <td>【授業外学習】</td> <td>事前:史料の判読と解釈を行う。 事後:授業内を整理するとともに、史料の読み下しと解釈ができるか確認する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3</td> <td>【内容】</td> <td>(第3週)「町中諸事御仕置帳」31~33頁を読む</td> </tr> <tr> <td>【授業外学習】</td> <td>事前:史料の判読と解釈を行う。 事後:授業内を整理するとともに、史料の読み下しと解釈ができるか確認する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">4</td> <td>【内容】</td> <td>(第4週)「町中諸事御仕置帳」34~36頁を読む</td> </tr> <tr> <td>【授業外学習】</td> <td>事前:史料の判読と解釈を行う。 事後:授業内を整理するとともに、史料の読み下しと解釈ができるか確認する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">5</td> <td>【内容】</td> <td>(第5週)「町中諸事御仕置帳」37~39頁を読む</td> </tr> <tr> <td>【授業外学習】</td> <td>事前:史料の判読と解釈を行う。 事後:授業内を整理するとともに、史料の読み下しと解釈ができるか確認する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【内容】</td> <td>(第6週)「町中諸事御仕置帳」40~42頁を読む</td> </tr> </table>	1	【内容】	(第1週)導入および史料の判読と解釈についての解説	【授業外学習】	事後:変体仮名に関する課題に取り組む	2	【内容】	(第2週)「町中諸事御仕置帳」28~30頁を読む	【授業外学習】	事前:史料の判読と解釈を行う。 事後:授業内を整理するとともに、史料の読み下しと解釈ができるか確認する。	3	【内容】	(第3週)「町中諸事御仕置帳」31~33頁を読む	【授業外学習】	事前:史料の判読と解釈を行う。 事後:授業内を整理するとともに、史料の読み下しと解釈ができるか確認する。	4	【内容】	(第4週)「町中諸事御仕置帳」34~36頁を読む	【授業外学習】	事前:史料の判読と解釈を行う。 事後:授業内を整理するとともに、史料の読み下しと解釈ができるか確認する。	5	【内容】	(第5週)「町中諸事御仕置帳」37~39頁を読む	【授業外学習】	事前:史料の判読と解釈を行う。 事後:授業内を整理するとともに、史料の読み下しと解釈ができるか確認する。		【内容】	(第6週)「町中諸事御仕置帳」40~42頁を読む
1	【内容】		(第1週)導入および史料の判読と解釈についての解説																										
	【授業外学習】	事後:変体仮名に関する課題に取り組む																											
2	【内容】	(第2週)「町中諸事御仕置帳」28~30頁を読む																											
	【授業外学習】	事前:史料の判読と解釈を行う。 事後:授業内を整理するとともに、史料の読み下しと解釈ができるか確認する。																											
3	【内容】	(第3週)「町中諸事御仕置帳」31~33頁を読む																											
	【授業外学習】	事前:史料の判読と解釈を行う。 事後:授業内を整理するとともに、史料の読み下しと解釈ができるか確認する。																											
4	【内容】	(第4週)「町中諸事御仕置帳」34~36頁を読む																											
	【授業外学習】	事前:史料の判読と解釈を行う。 事後:授業内を整理するとともに、史料の読み下しと解釈ができるか確認する。																											
5	【内容】	(第5週)「町中諸事御仕置帳」37~39頁を読む																											
	【授業外学習】	事前:史料の判読と解釈を行う。 事後:授業内を整理するとともに、史料の読み下しと解釈ができるか確認する。																											
	【内容】	(第6週)「町中諸事御仕置帳」40~42頁を読む																											

④ 授業計画	6	【授業外学習】	事前:史料の判読と解釈を行う。 事後:授業内を整理するとともに、史料の読み下しと解釈ができるか確認する。			
	7	【内容】	(第7週)「町中諸事御仕置帳」43～45頁を読む			
		【授業外学習】	事前:史料の判読と解釈を行う。 事後:授業内を整理するとともに、史料の読み下しと解釈ができるか確認する。			
	8	【内容】	(第8週)「町中諸事御仕置帳」46～48頁を読む			
		【授業外学習】	事前:史料の判読と解釈を行う。 事後:授業内を整理するとともに、史料の読み下しと解釈ができるか確認する。			
	9	【内容】	(第9週)「町中諸事御仕置帳」49～51頁を読む			
		【授業外学習】	事前:史料の判読と解釈を行う。 事後:授業内を整理するとともに、史料の読み下しと解釈ができるか確認する。			
	10	【内容】	(第10週)「町中諸事御仕置帳」52～54頁を読む			
		【授業外学習】	事前:史料の判読と解釈を行う。 事後:授業内を整理するとともに、史料の読み下しと解釈ができるか確認する。			
	11	【内容】	(第11週)「町中諸事御仕置帳」55～57頁を読む			
		【授業外学習】	事前:史料の判読と解釈を行う。 事後:授業内を整理するとともに、史料の読み下しと解釈ができるか確認する。			
	12	【内容】	(第12週)「町中諸事御仕置帳」58～60頁を読む			
		【授業外学習】	事前:史料の判読と解釈を行う。 事後:授業内を整理するとともに、史料の読み下しと解釈ができるか確認する。			
	13	【内容】	(第13週)「町中諸事御仕置帳」61～63頁を読む			
		【授業外学習】	事前:史料の判読と解釈を行う。 事後:授業内を整理するとともに、史料の読み下しと解釈ができるか確認する。			
14	【内容】	(第14週)総括1ー城下町名古屋を考えるー				
	【授業外学習】	事前:判読してきた史料に即して、城下町名古屋について考察した内容を発表する準備をする。 事後:他者の発表内を含めて整理し、考察する。				
15	【内容】	(第15週)総括2ー城下町名古屋を考えるー				
	【授業外学習】	事前:判読してきた史料に即して、城下町名古屋について考察した内容を発表する準備をする。 事後:他者の発表内を含めて整理し、考察する。				
④ 授業方法	いわゆるくずし字で書かれた江戸時代の原史料をテキストとして史料する。受講生は予め指定された史料を判読・解釈し、授業に参加する。授業では受講生が史料の判読と解釈を発表したうえで、その史料に関する解説を行う。受講生は事前学習・事後学習に不可欠な「くずし字辞典」(たとえば2年次秋学期に開講する「史料調査方法論」のテキストなど)を所持していることが望ましい。					
④ 成績の評価方法	(1)第1週から第13週の授業終了時に提出する小レポート、(2)史料の判読・解説の精度、(3)第14週と第15週の発表内容の3点から評価する。					
④ 成績の評価基準	(1)第1週から第13週の授業終了時に提出する小レポート(60%)、(2)史料の判読・解説の精度(20%)、(3)第14週と第15週の発表内容(20%)を基準とする。					
④ 教科書						
④ 参考文献	No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN
	1.	『くずし字用例辞典 普及版』	児玉幸多編	東京堂出版	5800	ISBN4-490-10333-6
	2.	『くずし字解説辞典 普及版』	児玉幸多編	東京堂出版	2200	ISBN978-4-490-10331-1
④ 備考	テキスト(コピー)は授業で配付する。その他の参考文献は適宜紹介する。					
④ 関連ホームページ						
④ メールアドレス	篠宮 雄二 sys1852@fsc.chubu.ac.jp					